

2024年度事業計画

公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・長野

I.基本方針、中期活動計画、2024 年度活動方針

1. 基本方針

スペシャルオリンピックスの基本理念に基づき、多くのアスリートたちにスポーツトレーニングの場を提供し、スポーツの楽しさを知ってもらい、競技会への参加を通じて、喜びや達成感、より高い目標へのチャレンジの精神を学んでもらう。またファミリーやボランティアとの絆を深め、活動を通じ、地域の人々を巻き込んだ共生社会を実現していく。

2. 中期活動計画

- ① スペシャルオリンピックス日本のコーチ養成システムの充実に対応したコーチ研修制度を推進。あらゆるアスリートに応じたプログラムの提供・計画立案・競技会の運営も出来るコーチの発掘・育成を目指す。
- ② ユニファイドスポーツの普及を推進。ユニファイド（≡インクルージョン）の理念の理解を深め、意義を共有できるように、自治体・教育機関・競技団体・福祉関係団体・企業等と連携し参加者の拡大をはかる。
- ③ 参加比率の低い女性アスリート、6-12歳のジュニアアスリートの発掘。障がい者の高齢化等で運動能力の低いアスリートにも対応した基礎的なプログラムを検討する。
- ④ スペシャルオリンピックス日本・長野の安定した活動のための資金の継続性を図る。
- ⑤ 地域社会・関連団体との連携を深める。

3. 2024 年度活動方針

- ① 【第8回 SO 日本冬季全国大会】（氷上大会）開催地区として引き続き大会の成功に向けて努力する。
- ② 【第8回 SO 日本冬季全国大会 雪上競技】（名寄）に多くの選手団を送り、2025 年開催予定のトリノでの世界大会への出場を目指す。
- ③ 全国大会開催を通じ盛り上がって来た氷上、フロアボール競技を継続してアスリートの発掘をしていきたい。
- ④ 11月2日（土）・3日（日）に全国大会の開催から漏れていたゴルフ競技の全国規模の大会を軽井沢で開催。（公財）日本ゴルフ協会とも協力の予定。
- ⑤ 途絶えていたヤングアスリートプログラムを再開（長野市）。若いアスリートの発掘に力を入れる。
- ⑥ コロナも収まってきたことから、他県より招待された大会への参加を増やし、親睦を図っていきたい。
- ⑦ 理事の活動の活発化。

Ⅱ. スポーツプログラム活動事業

年間を通じて県内各会場でスポーツプログラムを行う。

スペシャルオリンピックスが進めるユニファイドプログラムの普及に努める。

◆夏季競技

陸上競技	長野、軽井沢、松本、上伊那、飯田
バドミントン	長野
バスケットボール	上田、松本、いほく
ボウリング	長野、上田、軽井沢、佐久
サッカー	長野
ゴルフ	軽井沢
卓球	松本
テニス	長野、軽井沢
フライングディスク	軽井沢
ボッチャ(SO ボッチ)	軽井沢

◆冬季競技

アルペンスキー	長野、軽井沢、佐久
スノーボード	長野
クロスカンリースキー	長野
スノーシューイング	軽井沢
フィギュアスケート	長野
フロアボール	長野、飯田

◆ユニファイド競技

バスケットボール	上田、いほく
サッカー	長野
フロアボール	長野、飯田

Ⅲ. 強化練習事業

1. アスリートのスキル向上を目指し、外部団体より指導者を招き、合宿形式で行う。
競技未定。
2. 冬季ナショナルゲーム北海道の遠征に向けて、各会場のアスリートとコーチが集合する
アルペンスキー合宿を1月に軽井沢で行う。

Ⅳ. 競技会・大会開催事業

1. 「ゴルフ競技会」(全国招待大会)開催。
開催日程：2024年11月2日-3日。開催場所：軽井沢町
2018年の夏季ナショナルゲーム・愛知以降、全国大会が開催されていないため、
各地区組織の要望もあり開催する。

Ⅴ. 大会遠征事業

1. 「2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」遠征事業

①雪上競技（アルペンスキー・スノーボード・クロスカントリースキー・スノーシューイング）

日程： 2月10日（土）-12日（日）

場所： 北海道名寄市

選手団：アスリート19名、団長1名、副団長1名、コーチ6名、追加スタッフ1名

②氷上競技（フィギュアスケート）

日程： 2月24日（土）-25日（日）

場所： 長野市ビックハット

選手団：アスリート3名、団長1名、コーチ1名

2. SON・三重20周年事業競技会への遠征

テニス、ボウリング、競泳、サッカー、陸上競技の競技会開催の案内をいただいているので、主任コーチ、競技部長と相談し、適宜遠征する。時期は、7月～9月。

VI. 外部大会参加事業

行政・各外郭団体と連携をとり、アスリートが参加できる外部大会には積極的な参加を促す。

1. 第18回佐久市スキー大会 3月
2. 第46回長野市スケート競技大会 3月
3. 軽井沢町民スキー大会 3月
4. ボッチャ競技大会 パラウェーブNAGANOカップ 12月

VII. ボランティア、指導者育成事業

スペシャルオリンピックス日本の「認定コーチ研修制度」に基づき、オンラインコーチクリニックの受講をボランティアに促すとともに、東海・北信越ブロック内で開催競技を調整した対面型コーチクリニックを適宜開催する。また、

既にスペシャルオリンピックスの認定コーチの資格を持つコーチ向けに行われる「コーチアカデミー」等へのコーチの参加を促し、スキルアップ及び活動の幅を広げる取り組みに積極的に関わっていく。

1. コーチクリニック

◆オンラインコーチクリニック 年間開催（ユニファイドスポーツ含む）

◆対面型コーチクリニック

ボウリング（3月）、ヤングアスリート（4月）、バスケットボール（5月）

フロアボール（6月）、ボッチャ（SOボッチ）（6月）、卓球9月

VIII. 広報・啓発事業

1. 広報

◆ニュースレターの発行 年4回発行予定

◆ホームページ、Instagramからの情報発信

2. 資金調達・マーケティング

事業活動を円滑に行うための資金調達活動を行う。

3. 外部連携

様々なスポーツ団体との連携強化を図ると共に、行政機関、各障がい者団体、支援先等

との連携をより一層深める。

IX. 運営活動事業

オンラインを使用して、ハイブリッド型の会議を実施する。また、スペシャルオリンピックス日本主催の会議（オンライン含む）にも、積極的に参加していく。

1. 理事会 年4回（1月、3月、6月、12月）開催。
2. 定時会員総会 3月開催。
3. 主任コーチ会議 年2回開催。
今年度よりコーチ会議から主任コーチ会議へ移行し、質の高い会議とする。
4. ファミリー委員会 適宜開催。
5. 全国事務局長会議・スポーツプログラム委員長会議、ブロック会議 4月、9月、12月

以上